

多高通信

第147号 平成29年10月30日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

白熱！ 体育祭！！

10月6日、本校グラウンドで体育祭が開催されました。秋晴れの中、実行委員の皆さんや各部活動のみなさんの協力によりスムーズな運営がなされ、大きな盛り上がりを見せました。保護者の方々も応援に駆け付けてくださり、素晴らしい体育祭となりました。体育祭実行委員をはじめとする生徒の皆さん、お疲れ様でした！

■体育祭実行委員長

3年6組 渡邊昌太郎(高崎中出身)

多高三大行事のひとつ・体育祭の実行委員長として、準備や当日の運営を他の実行委員のメンバーや先生方と協力して行事を創り上げていくことにとても大きなやりがいを感じ、いい経験になりました。また、クラスの一員として競技に参加し、クラスの一体感や友情を深めることができました。高校生活最後の行事が終わってしまうと思うと少しさびしいですが、悔いが残らないほど思い切り楽しむことができました。

体育祭実行委員長として、最高の体育祭に関わることができ、本当に良かったと思います。



2017 シカゴ・多賀城市

TOMODACHI交流プログラム

9月3日から10日、本校の生徒6人が、シカゴ・多賀城市 TOMODACHI 交流プログラムとしてシカゴに滞在してきました。



このプログラムは、より協調的で繁栄した安全な世界への貢献と、そうした世界への成功に必要な技能を備えた若いリーダーの育成を目指すものです。今回の交流は、シカゴ日米協会が『グローバル・シカゴ・グローバル・ミー』というテーマのもと、多賀城市の高校生がアメリカの滞在を通しグローバルに視野を広げ将来へつなげていくことを目的として実施されました。



シカゴの街並みをバックに



オムロン社訪問。最新の技術が並びます。

シカゴでの滞在中、生徒は現地のホストファミリー宅にホームステイし、買い物や観光などを通して思い思いのものを体験してきました。また、シカゴ大学やシカゴ美術館の見学、ともに世界中に支社を持つ、日系会社のオムロン、アメリカの会社のもレックス社の訪問、シカゴで最も歴史のあるレーンテック高校での授業体験、在シカゴ日本国総領事館訪問など、盛りだくさんのプログラム内容となりました。

今回のプログラムは、シカゴ日米協会のご尽力により実現したものです。参加生徒はアメリカ文化を経験し、アメリカ人の優しさや寛大さ、そしてアメリカ在住の日本人の優しさと強さに触れ、グローバル社会で自分の夢に向かう一歩を踏み出しました。

在シカゴ日本国総領事館を訪問。伊藤総領事とお話する機会を頂きました。



■3年6組 星 聖亜 (塩竈三中出身)

初めてのホームステイで不安でしたが、ホストファミリーの皆さんが温かく迎えてくださり1週間楽しく過ごせました。コミュニケーションを取る上で、きれいな発音で話すことよりも、頑張った話そうとする気持ちが大切なんだと身をもって実感することができました。

また、アメリカの高校の授業に1日参加させていただきましたが、日本とは全然違う風景でした。生徒の発言が多く、分からないところがあつたらすぐ手をあげて質問していき積極的にという印象が強かったです。でもアメリカの高校を見ていると、日本の高校はアメリカと比べて、ここが良いという点もたくさん見えてきます。このような経験を活かし、自分の将来に繋げていけるよう、今できることを一生懸命頑張りたいです。

LINE講習会

9月14日、全学年対象の「LINE講習会」が開かれました。

LINE株式会社の柴田様に来校していただき、LINEの利用の仕方、利用時のマナー、注意事項などを日常にありふれた場面を交えお話いただきました。

LINEを利用するときに考えるべきことはもちろん、コミュニケーションについて考える時間となり、「何が正解かを探すのではなく、どうすれば楽しいコミュニケーションとなるのかを考えよう」という、LINEを越えたお話し、生徒たちの積極的な姿勢と真剣な表情を感じることができました。

色々な方法を用いて、考えて、素敵なコミュニケーションを重ねていきましょう。



白嶺防災フォーラム

10月7日・8日、昨年12月に大規模火災が発生した新潟県糸魚川市で白嶺防災フォーラムが行われ、本校の災害科学科の生徒を中心とした生徒が参加してきました。

消防署長・長野さんのお話



1日目は糸魚川白嶺高校で糸魚川大規模火災について概要を説明して頂きました。講師として、実際に消火活動を指揮した糸魚川消防署長の長野隆一さんをお迎えし、臨場感あふれる説明をしていただきました。糸魚川は山からの風が強く吹くため、延焼が早く消火に時間が掛かったこと、また木造住宅が密集しており、建物の裏側からの消火ができなかったことなど教えていただきました。その後、火災のあった糸魚川駅東口を案内していただきました。消火の際の苦労した点、被災者の現在の生活などについて教えていただきました。

2日目はヒスイ王国において、白嶺防災フォーラムが行われました。本校と兵庫県立舞子高校がそれぞれの取組みについて発表しました。質疑応答では津波高標識の取り付けに関する質問が多くありました。その後、災害が起きたときに何が大切か、などについて話し合い活動が行われました。様々な意見が出され、学びの多い時間となりました。

■2年3組 小畑友哉 (しらかし台中出身)



今回糸魚川市で大規模火災の被害の大きさを改めて目の当たりにしました。当時消火活動にあつた消防署長の長野さんのお話から、周囲の環境や立地が災害に与える影響が大きいことを学ぶことができました。また、地元の高校生の皆さんと交流をした際には、地元の方々があまり表だつた活動ができていないという現状を聞き、自分たちが普段行っている活動の大切さや力の大きさを実感しました。多賀城高校として、これからも防災減災活動により力を入れていきたいと思ひます。

ありがとうございました

10月7日に災害科学科説明会が行われました。あいにくの雨天にも関わらず、多数の中学生や保護者の方々にお越しいただきました。

